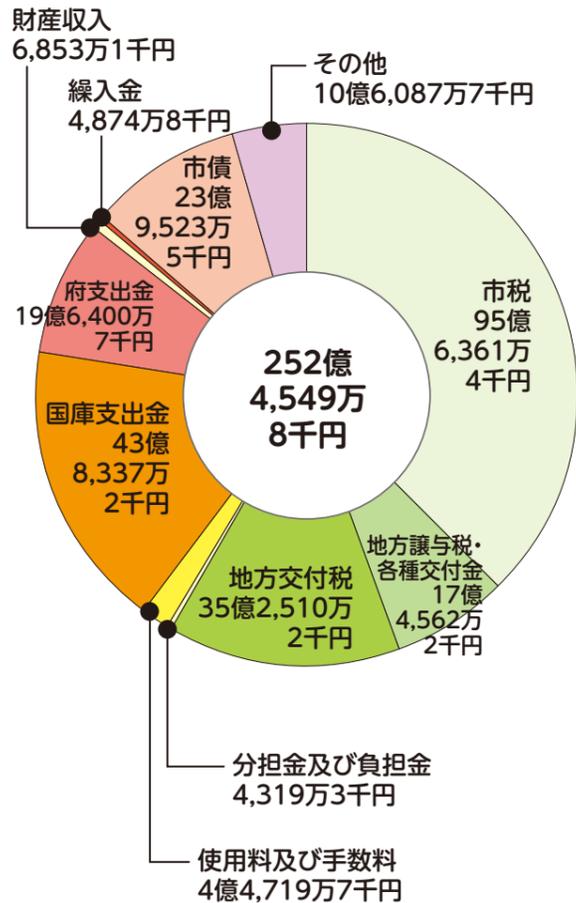


令和元年度の決算

☎ 財務課 ☎ 892-0121

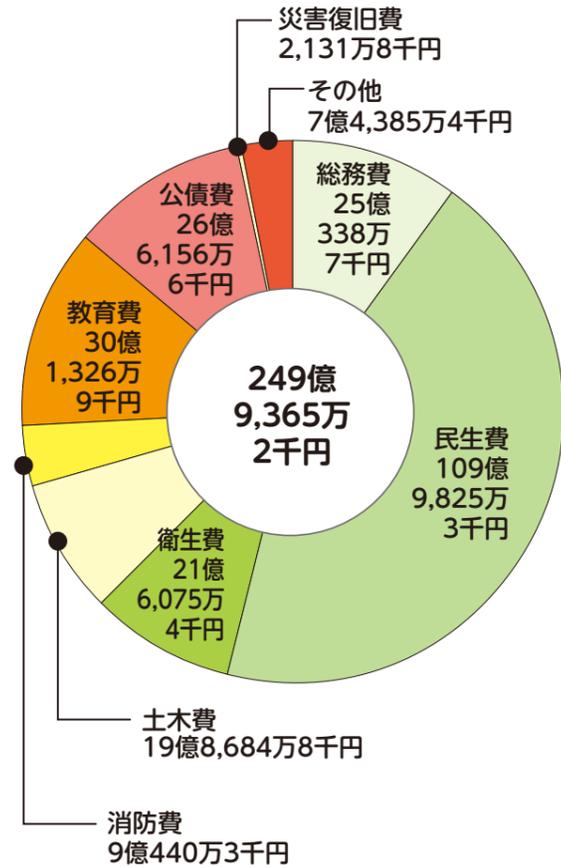
一般会計決算は、歳入が252億4,549万8千円、歳出が249億9,365万2千円となり、差し引き2億5,184万6千円のプラス収支となりました。市の財政状況は依然として土地開発公社の負債や、各公共施設等の老朽化対策等、多くの問題が山積みしており、厳しい状況が続くことが予測されます。今後も継続的・安定的な行政サービスを提供していくため、さらなる歳入の確保に努めるとともに、その財源を最大限に生かした、効果的で効率的な財政運営を進めます。

歳入



- ▷ 市税全体で1億7,500万5千円の増
- ▷ プレミアム付商品券事業に関する補助金や星田北・星田駅北地区の区画整理事業に係る社会資本整備総合交付金などにより、国庫支出金が5億9,611万9千円の増

歳出



- ▷ 小学校の防災機能強化工事や幼児教育の無償化の影響などにより、教育費が3億1,036万1千円の増
 - ▷ 社会保障経費の伸びや保育無償化の影響などにより、民生費が6億7,862万9千円の増
- 主な事業**
- 星田北・星田駅北地区区画整理事業 6億2,687万8千円
 - 星田会館活用事業 6,257万1千円

会計別決算額

単位:千円

会計名	歳入総額	歳出総額	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	25,245,498	24,993,652	69,749	182,097	△231,656
国民健康保険特別会計	8,251,393	8,032,961	0	218,432	△75,245
介護保険特別会計	5,778,724	5,616,158	0	162,566	10,477
公共用地先行取得事業特別会計	744,214	744,214	0	0	0
後期高齢者医療特別会計	1,374,965	1,338,320	0	36,645	△27,558
合計	41,394,794	40,725,305	69,749	599,740	△323,982

健全化判断比率

項目	説明	R1	H30	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	財政規模に対する赤字の割合	なし	なし	12.81%	20.0%
連結実質赤字比率	特別会計も含めた実質赤字比率	なし	なし	17.81%	30.0%
実質公債費比率	収入規模に対する公債費の割合	9.4%	10.2%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対する、今後負担することになる負債の割合	86.7%	103.3%	350.0%	基準なし
資金不足比率(水道事業)	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合	なし	なし	20.0%	基準なし
資金不足比率(下水道事業)		なし	なし	20.0%	基準なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、また資金不足比率は資金不足が発生しないため「なし」と表示しています。

基金と市債

単位:千円

基金(貯金)残高		市債(借金)残高	
財政調整基金	3,825,594	一般会計債	26,137,403
減債基金	653,572	公共用地先行取得事業会計債	2,164,859
その他特定目的基金	2,070,671	合計	28,302,262
合計	6,549,837		

※水道および下水道分、土地開発公社分は除きます。

公社・公営企業会計等

単位:千円

会計名	収益的収入(歳入)	収益的支出(歳出)	純利益	前年度純利益
土地開発公社会計	700,862	684,266	16,596	14,822
水道事業会計	1,352,018	1,309,043	42,975	19,072
下水道事業会計	1,397,419	1,196,466	200,953	—

土地開発公社借入金の状況		
期間	借入総額	平均利率
長期	7,562,000	0.41%